

## Programme

### part I

#### 《歌とリュートによるイギリスのはやり歌 *English Folk Songs*》

アニー・ローリー *Annie Laurie*  
美しい岸辺 *Ye Banks and Braes*  
私の窓から立ち去れ *Go from my window*  
バーバラ・アレン *Barbara Allen*  
柳の園のそばで *Down by the Sally Gardens*  
木々は緑に *The Leaves be Green*  
スカボロ・フェア *Scarborough Fair*

#### 《シェイクスピアの劇音楽 *Shakespeare Music*》

*English Jig* / Anon. / イギリスのジグ〈恋の骨折り損〉作者不詳  
*It was a lover and his lass* / Morley / それは恋人たち〈お気に召すまま〉モーレー  
*Fortune my foe* / Anon. / わが敵運命よ〈ウィンザーの陽気な女房たち〉作者不詳  
*Willow song* / Anon. / 柳の歌〈オセロー〉作者不詳  
*Morisco* / Anon. / モリスコ〈ヘンリー六世〉作者不詳  
*Greensleeves* / Anon. / グリーンスリーヴス〈ウィンザーの陽気な女房たち〉作者不詳

### Part II

#### 《バロックの幕開け・イタリアの初期バロック *Italian early baroque*》

*Toccata* トッカータ / カプスベルガー *Giovanni Girolamo Kapsberger*  
*Amarilli mia bella* アマリリ麗し / カッチーニ *Giulio Caccini* ナウバッハ *Giovanni Nauwach*  
*Aria "O che nuovo stupor"* おお新たなる驚き / フ.カッチーニ *Francesca Caccini*  
*Toccata* トッカータ / フレスコバルディ *Girolamo Frescobaldi*  
*Canzon* カンツォン / フレスコバルディ *Girolamo Frescobaldi*  
*Se l'aura spira tutta vezzosa* そよ風ふけば / フレスコバルディ *Girolamo Frescobaldi*  
*Il Lamento in Morte di Mario Stuardia* メアリー・スチュワートの嘆き / カリッシミ *Giocomo Carissimi*  
*Et è pur dunque vero* それは真実なのだ / モンテヴェルディ *Claudio Monteverdi*

平井満美子 / ソプラノ 佐野健二 / リュート  
with  
奥田直美 / リコーダー 坂本利文 / ヴィオラ・ダ・ガンバ

今回の例会運営は以下のサークルで担当しました  
ずっこけパンダ、たんぼぼ村、イワンの馬鹿、ナカノ、花園会、三つ葉会、  
真野、草間、大滝、大谷、辻田、渡部、藤野、南高、米工、里親